

(別記様式)

会 議 の 概 要

会議の名称	令和2年度第2回木津川市環境審議会	
開催日時	令和2年12月23日(水) 10時00分～12時00分	
開催場所	木津川市役所 第2北別館2階会議室	
出席者 出席：■ 欠席：□	委員 (名簿順)	■橋本委員(会長) ■尾崎委員(副会長) ■大西委員 ■北委員 □木原委員 ■立花委員 ■渡部委員 ■内村委員 ■江見委員
	オブザーバー	■遠藤オブザーバー ■森岡オブザーバー(岡田代理)
	事務局	市民部：山本部長、藤岡次長 まち美化推進課：山上主任、西澤会計年度任用職員
議 題	(1) 今回の審議事項等について (2) 団体・事業所アンケートの調査結果について (3) 小学生アンケートの調査結果について (4) 計画の素案アンケートについて (5) その他について	
公開・非公開の別	公開	非公開の理由：－
傍聴人の数	0名	
会議資料	資料 木津川市環境審議会委員名簿 資料1 団体・事業所アンケート調査結果 資料2 小学生アンケート調査結果 資料3 第2次木津川市環境基本計画(素案) 資料4 重点施策における管理指標 資料5 第2次木津川市環境基本計画策定スケジュール 資料6 空家の状況	
審議経過 ◎：議事・進行 ○：質問・意見 ⇒：説明・回答	1. 開 会 2. 議 事 ◎橋本会長から、名簿順により会議記録署名委員として立花委員が指名された。 (1) 今回の審議事項について ◎橋本会長から今回の審議事項について、議事(2)～(4)の3点がある旨説明を行った。	

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

(2) 団体・事業所アンケートの調査結果について

◎事務局から団体・事業所アンケートの調査結果について説明を受け、審議を行った。

資料1 団体・事業所アンケート調査結果

○「環境パートナーシップ会議」について、アンケートに寄せられた意見の中で「この会議の内容や目的などが不明である」というものがあったが、アンケートの質問項目において当会議の内容について記載はしたのか。

⇒質問項目では「環境パートナーシップ会議」について、環境に関する取組を実施している団体・事業者が、行政と協働して環境施策を実行していくにあたり、行政と設立するもの、という書き方をしており、当会議についての具体的な内容については記述しておりません。

○昔と比べ、今の若い世代では環境に対する考え方が変わってきていると思われるため、若い世代の考え方をどう捉えていくかが今後の課題と思われる。

(3) 小学生アンケートの調査結果について

◎事務局から小学生アンケートの調査結果について説明を受け、審議を行った。

資料2 小学生アンケート調査結果

○好きな遊びで、ゲームと答えた児童が少なかったのが意外であった。また、地球温暖化問題については児童のなかでも広く知られているとのことであったが、地球温暖化問題に関する設問は特に設けていなかったのか。

⇒設けておりません。

○問10がごみに関する設問であり、そのイメージがあったせいか、あとの問11・12がごみに特定した設問でないにもかかわらず、ごみについて答えた児童が多かったようである。

(4) 計画の素案について

◎事務局から計画の素案について説明を受け、審議を行った。

資料3 第2次木津川市環境基本計画（素案）

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

○木津川市に環境基本計画があるということ自体、市民には伝わっていないのではないかと。例えば学校単位で産経新聞の「地球環境大賞」に応募するといった、市民にも分かりやすい目標を設定するなど、本計画を市民レベルにも広く浸透させることが課題である。

⇒おっしゃられるように、そうした賞に応募したり表彰制度を設けることなどで市民の方に環境に対する意識をもつていただくきっかけづくりとなるかと思っておりますので、検討させていただきます。

また環境教育の推進のところでも触れておりますとおり、主体的に自ら動く人をどう発掘していくかが課題となっております。

テレビで長野県松本市の「30・10（さんまるいちまる）運動」が紹介されており、同市で市民向けに「毎月10日と30日に冷蔵庫のなかを確認し、余っている食材を使用して食品ロスを減らそう」という取組みを推進した結果、家庭系ごみの削減につながっているそうです。こうした具体的な取組みまで本計画に書き込めることができるかは分かりませんが、本市においても市民目線の運動をどのように推進するか、また本計画が市民レベルにまで認知してもらえるようにどのような取組みを行うか、検討させていただきます。

○小学生アンケートの結果から、全体の半数以上が家のまわりに緑・自然が多いと答えており、また将来的にもこうした自然があったらよいと思っているとのことであった。一方で団体・事業者アンケートでは、全体の4割が10年前に比べて山林や緑が減ったと答えている。

このように子どもも大人も山林や緑に対してすごく興味を持っておられるのが分かるが、資料4の管理指標では、山林や緑に関する目標値が挙げられていないのが残念である。例えば、森林整備面積が増加することで、森林CO2吸収量の増加や防災対策にもつながる。また木津川市も森林環境譲与税の交付を受けていると思うので、そこから指標となるものを見つけてはどうか。

また、資料4の重点施策⑤の管理指標③について、「環境活動団体等による環境学習の取組み数」と挙げられているが、取組み数ではなく市民の参加者数にしたほうが、こうした取組みが市民にいかに浸透しているかの指標になるのではないかと。

⇒管理指標については、市が毎年度具体的な数値を把握できるものを挙げさせていただいておりますが、森林整備面積をはじめ森林に関するデータについては市が把握することが困難です。他に具体的な数値で挙げられるものがないか検討いたします。

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

○森林に関するデータについて、市全体の数値が不明でも、例えば木津北地区に関しては組成調査を行って森林面積を把握されているので、部分的なものであっても指標に挙げてよいと思う。

○管理指標のなかで、具体的な数値を記載しているものと、↑や↓といった矢印で記載しているものがあるが、矢印は昨年度比の増減を表しているのか、それとも元々の目標があり、これに対する増減を表しているのか。

⇒管理指標については、個別の計画で具体的な目標数値が定められている場合はその旨を記載しておりますが、個別計画がなく、具体的な数値で表せない目標については減らしていこうまたは増やしていこうという方向性を表すため矢印で記載しております。あくまで本計画は市全体の環境に関して将来的な方向性を定めるものであることから、本計画で具体的な数値を定めるものではないと考えます。

○管理指標は具体的な数値を挙げてもらわないと、きちんとその施策が進められているのか市民にとっても不安である。

⇒例えば資料4の重点施策4 管理指標③にあります公害苦情件数のように、本計画において具体的に何件を目標とするかを定めるのが難しいものもあります。しかしながら、管理指標でできる限り具体的な数値を記載することが望ましいことは理解しておりますので、検討させていただきます。

○管理指標はモニタリングのためのものでもあるので、ぜひ検討いただきたい。重点施策1で脱炭素に向けた取組みが挙げられているが、本文にも実行計画（区域施策編）の策定に取り組むとの記載があるので、こちらの計画のほうで目標数値を定められるのもよいと思う。

○P22以降の重点施策において、それぞれの項目において方向性を示しておられるが、市ができる施策と社会全体で進めるべき施策があると思われるので、市ができる施策がなにかを明確にするのがよい。

また、市ができる施策に対して管理指標を定め、毎年点検においてその施策もしくは施策の結果をモニタリングできればよい。

⇒基本的に市として実施していく施策については「進めます」・「推進します」等の表現をしており、例えば京都府と連携して実施する

審議経過

- ◎：議事・進行
- ：質問・意見
- ⇒：説明・回答

事業については「府と連携します」としております。

また管理指標の考え方につきまして、1つ1つの施策に対し管理指標を定めるのは困難ですが、例えば重点施策1では、脱炭素に向けてさまざまな取組みを行った結果を示すものとして、市公共施設から排出される温室効果ガス量を、取組みの進捗を確認するための管理指標の一つとして挙げております。

○団体・事業所アンケート結果から、行政からのサポートを望む声が挙がっていたが、本文にその旨記載してはどうか。

⇒アンケート結果でいただいたそうしたご意見をもとに、重点施策⑤の管理指標を挙げるなど、反映させていただいております。

○例えば、P23の「太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用を図ります。」や「地域の再生可能エネルギー自給率の向上と防災性を強化し、脱炭素型の都市づくりを進めます。」などについては、具体的にどんな取組みを行われるのかが見えにくい。

⇒太陽光発電については、P24の【主な取り組み】にあります、市民向けエコ生活応援補助金などがあります。おっしゃるとおり、施策の各項目と具体的な取組みがどう結びつくのか、より分かりやすい表現ができないか検討いたします。

また「検討します」と表現しているものについては、今後の課題であるため、【主な取り組み】で特段記載はしていません。

○P34の「こどもエコクラブサポーターの会」の書き方について、整理が必要である。「こどもエコクラブ」は市の事業で、これを支援する市民団体が「サポーターの会」であるため、「サポーターの会を支援する」という表現は不適切ではないか。

「こどもエコクラブ」と「サポーターの会」の事業は市と市民が連携した良い取組みであるので、こうした取組みを広げられるように具体的な事例として挙げてほしい。

⇒表現等についてはまた修正させていただきます。

○P35に城山台小学校の環境活動のコラムがあるが、他の学校はどうなっているのか。身近なところでできる例として、夏休みの宿題でエコに関するボランティアに参加したことをレポートで出すなどもある。

○環境教育においては、城山台小学校には里山が、棚倉小学校には学

校林があり、こうしたフィールドを持っている学校では体験活動が充実している。また多くの小学校で夏休み省エネチャレンジに取り組んでいるので、本計画で取り上げていただいてもよいかと思う。さきほど賞を取りに行ったらどうかというお話があったが、城山台小学校では産経新聞の「学校自慢エコ大賞」で2年度連続受賞している。賞金も出たため、それを学校の環境活動に活用できた。

○城山台小学校でそうした取り組みをしておられるのは、子どもたちが環境に関心があることの表れでもあり、こうした目標があるということは子どもたちが学ぶ上でも重要である。さきほどの「地球環境大賞」でも賞金が出るうえに、自治体からの応募も可能であり、受賞できたら自治体のアピールにもなるのでぜひ検討してほしい。

○市民の方に見てもらえるような計画であることが重要であり、具体的な取り組みやその達成度を一覧表にして「見える化」を図り、市ホームページなどで公表してほしい。

またさきほどお話のあった森林面積について、昔は航空写真で確認していたが、今ではドローンで確認できるのでぜひ活用してほしい。

○「木津川を美しくする会」の取り組みで、毎年夏休みに小学生にポスターを描いてもらっているが、担任の先生のやる気によって作品がたくさん集まるかが違ってくるので、教育委員会のほうにも協力をお願いしたい。

○ペットの適正管理についての記載があるが、自宅周辺で野良猫のフン被害で困っている。また飼い犬の散歩でもフン用の袋を持ち歩いている人も見かける。

⇒おっしゃるような犬猫の適正管理に関する苦情もこちらに寄せられております。ひどい事例ですと野良猫に餌やりをして20～30匹集まってしまい周辺から苦情が出たケースもあります。原因者には迷惑防止の啓発を行い、保健所と一緒に指導するなど対応しております。

○まちの緑化についての記載があるが、加茂駅前の歩道のケヤキの木が、せっかく植樹されたのに、幹だけ残して枝が全て切られてしまっていて残念である。

⇒街路樹については、所管の管理課から聞いたところによりますと、

	<p>「落ち葉の掃除が大変なので早く伐採してほしい」という方がいる一方で、「せっかく紅葉しているのになぜ伐採するのか」という方もいるなど、いろんなお声が寄せられるそうです。</p> <p>○農業委員会においても耕作放棄地の増加に頭を悩ませており、所有者がおられる土地に対しどのように対策を進めていくかというのが課題である。</p> <p>(5) その他について</p> <p>◎事務局から次の事項について説明を受けた。</p> <p>(次回審議会の日程について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会は令和3年2月5日に開催します。その後、2月上旬に政策会議に諮り、3月にパブリックコメントを実施する予定です。 <p>(配布資料について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料6「空家の状況」は、前回審議会で空家率について説明があったため、追加で配布するものです。 <p>4. 閉 会</p>
<p>そ の 他</p>	<p>特になし。</p>